

2023年（令和5年）11月19日（日）
14時30分～16時30分
専修大学・神田校舎・10号館
5階10052教室

2023年（令和5年度）・第3回・関東学生卓球連盟・理事会

議事録

出席者

現地出席

会長	鈴木一雄			
副会長	河原 智	細井孝一		
理事長	鄭 泰應			
副理事長	板垣賢一			
理事	宮本勝典	高宮 啓	人見 剛	本橋道直
	矢島淑雄	多賀康之	古谷修一	菊地靖子
	太田秀明	佐々木修	恒川明久	
幹事長	植西 空			
副幹事長	井岡咲乃			
会計	眞木七夕佳			
幹事(理事)	竹内智一	米田裕哉	山田大吾	岩瀬裕大
	松山順英	江原翔真	岡村香苗	

リモート出席

理事 池田由美子 鈴木美桜

委任状出席

副理事長	氏田知孝	鈴木達也		
理事	江尻雄一	長崎隆志	兼吉道策	小野博良
	岩村健司	長田拓也	荒井咲季	

オブザーバー出席

幹事(理事以外) 五十嵐みゆき 中村 光

【開会】

鈴木会長挨拶。

定足数確認。 会長1名・副会長2名・理事35名⇒構成員総数38人

現地出席 26名

リモート出席 2名

委任状出席 9名

出席者合計 37名

⇒構成員の過半数のため定足数を満たし、理事会成立

欠席 1名

オブザーバー出席 2名

理事以外の学生幹事

議事録署名人指名 宮本理事、高宮理事の2名が議事録署名人に指名された。

【議事】

【報告事項】

1) 新役員紹介

中村光（専修大・1年）（第1回理事会（3月）以降の4月に役員入り）
鄭理事長からの紹介、及び自己紹介があった。

2) 前年度・関東学連・年間優秀選手賞・報告

恒川理事より、処理遅延の謝罪、及び資料を基に報告があった。

3) 今年度・各事業報告

植西幹事長より、資料を基に報告があった。
・ 公認審判講習会は実施しないこととなった。
・ 会長杯は、日程が短縮されるかを調整中である。

4) 来年度(R6)・事業日程・決定状況中間報告

眞木会計より、資料を基に報告があった。
・ 全日学が月曜から木曜の平日開催となった。

5) 日学連報告事項

板垣副理事長（日学連理事長）より、資料を基に報告があった。
ポーランド国際大会に関しては鄭理事長からも報告があった。

6) 日卓協報告事項

板垣副理事長（日卓協理事）より、資料を基に報告があった。

7) その他

- ・ 東京都卓球連盟・2024年～2026年・理事に長崎理事を推薦済み。
鄭理事長からの説明があり、拍手を持って推薦が追認された。
- ・ 慶應義塾大学が秋季リーグ戦・男子2部を、出場辞退した事の説明とお詫び
古谷理事より事情説明とお詫びがあった。

【協議事項】

1) 役員追加

葛西順一氏（早稲田大OB）を顧問に追加する件。
鈴木会長より、「今年度限りで定年により関東学連会長を退任するが、
会長職の後任候補として葛西順一氏を考えている。早稲田大OBとしての
伝統校の地位、監督・関東学連理事を歴任された経歴、日卓協との繋がりもあり、
適任と思う。まずは会長就任に先駆けて関東学連顧問に就任願いたい」との

説明があった。これに対し、異議なく、葛西氏の顧問就任が承認された。

2) 送別会の来年度以降のあり方の件

コロナ以前より、3月上旬の送別会は卒業生の出席者は数名～10名程度。

男女1・2部の主将は28人。主務や学連役員を含めると卒業生の分母は約50人。

事実上10%余りの参加率。だからと言って強制するのも主旨から外れる。

事実上、1月の試験後は引っ越しなどもあり、上京が難しい事態も多々ある。

時期の2月への前倒しや、「送別会・兼・新年度会」など主旨変更も検討した方が良いのではないか。

(過去には1月に新年会を開催していた時代もあったが、費用、その他の理由で中止して数十年経過した)

上記の件に関し、恒川理事より説明があった。

これを受けて、以下の通り議論があった。

- ・ 各校の体制交代（主将等の役員交代）の時期に合わせ、前体制の慰労の会とするのが良いのではないか。体制交代はいつなのか。
 - ・ 体制交代は秋季リーグ戦後が多数。全日学後、全日学選抜後なども少数ある。
 - ・ 学連の主要大会は全日学選抜で終了し、事業年度も12月で終わる。これを受けて12月開催が望ましいとの意見も複数あった。
 - ・ 周期的に全日学選抜の主管が回ってくる年の対応
 - ・ 学連以外の東京選手権予選（12月）全日本選手権（1月）東京選手権本戦（3月）などの大会との兼ね合い
 - ・ 卒論、卒業試験などとの兼ね合い
 - ・ 現在、同時開催している関東・第1回理事会や年間優秀選手表彰式との兼ね合い（分離開催化の検討）
- など、諸々の事情を考慮し、12月～3月までの間での最も適した時期と会のあり方（送別会なのか体制交代会なのか等）を検討していくこととなった。
- ・ 今年度に関しては、時期的に従来からの変更は間に合わせないため従来通りの3月の送別会開催とし、1年後に向けて、必要に応じて事業部会なども活用し、検討していくこととなった。

3) 関東学連・年間優秀選手賞の来年度以降のあり方の件（12月頃までに結論要）

選手相互間の讃え合いと、「次は自分が受賞を」という励みになれば、

との思いで、続けてきた関東学連・年間優秀選手賞であるが、

- ・ 明らかに不真面目な投票が常に一定数ある（特に男子）
- ・ 全日本選手権後に回答してもらうため、結局、印象強い全日本の結果だけの受賞者となることが多い。
全日本の上位者はスケジュールの関係で、学連の試合に出場しない例も多い。
- ・ 集計にそれなりの労力を要するので、「意義」との釣り合いが微妙。
- ・ 送別会と同時に表彰をしてきたが、今回は集計遅延で断念。
来年度から送別会の前倒しなどがあれば、なおさら不可能。
受賞者が卒業生以外であれば春リーグ時などでも良いかもしれないが、タイムリーではない。

などから、中止か継続か、検討が望まれる。

上記の件に関し、恒川理事より説明があった。

これを受けて、以下の通り議論があった。

- ・ 投票ではなく、大会の成績に応じたポイント制にした方が良いのではないか
- ・ 年の区切りを全日本選手権でなく、全日学選抜にすることで約2か月のスケジュール前倒しが可能となる。
- ・ 受賞者の特典は現在は名前入りの盾。更なる特典を考えるのも賞のステータス向上に役立つのではないか。
実用的なものや受賞者が望む物が好ましいのではないか。
- ・ 選手間投票ではなく、監督による投票などにする方法も考えられる。
大リーグのMVP選出は記者投票であることなどを参考にする。
- ・ 監督の場合、試合をよく見ている選手の事情に詳しい人とそうでない人がいるので、適任者の判別が難しい場合も考えられる。
- ・ 今回、中止も、方式の変更も決定できないため、今年度の年間優秀選手賞は従来通りの方式で継続することとなった。1年後に向けて、必要に応じて事業部会なども活用し、検討していくこととなった。

4) 関東学連・登録料変更提案

恒川理事より、資料を基に説明があった。

これを受けて、以下の通り議論があった。

- ・ 登録料の負担元に関して、大学負担・個人負担などの実態調査をしてはどうか
- ・ 大学からの補助はなく、OB会からの補助のみがある、など、特殊な事例もある
- ・ 負担元の調査をしても千差万別で、それを基にどうすれば良いのかは結局わからないのではないか。
- ・ 登録料を個人登録料のみとしてしまうと、登録人数の変動に収入の増減が直結するため、リスクもある。
- ・ 救済措置案は、「初年度登録の減額」「人数などの事情による減額」「個人登録制度の導入検討」などが考えられる。
- ・ チーム登録料と個人登録料の比率について、0:100にするのではなく、暫減と暫増の折衷案も含めた検討があった方が良いのではないか。
- ・ パターンを複数想定し、案を複数提示してその中から採決できるように準備を進めることとする。

5) 役員交通費・申請書（自己申請）の件

恒川理事より、資料を基に説明があった。

今年より監督の試合時以外の交通費を支給対象としたことが去年までとの違いである旨が説明され、異議なく承認された。

【その他】

- ・ 板垣副理事長（日学連理事長）より、
「今後の1～3月で、日学連・関東学連とも定年制などの影響もあり、大幅な役員の入替わりが発生する。会長・副会長以下、多数の役員が退任し、新任の選抜なども活発化する。いろいろなことがあると思われるが皆さんのご協力を宜しくお願いします」

との発言があった。

・ 鈴木会長より

「最近、学生スポーツの不祥事（大麻問題、暴力問題、等）が多数報じられている。各チームにおいては、十分注意の上、不祥事の防止に努めていただきたい」

との発言があった。

【閉会】

細井副会長挨拶

議事録署名人

宮本勝典

議事録署名人

高宮 啓
